

2025年度(令和7年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	72.0	20.0	4.0	4.0
女子	65.7	20.0	8.6	5.7

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	76.0	4.0	20.0	0.0
女子	62.9	28.6	8.6	0.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	60.0	28.0	8.0	4.0
女子	48.6	31.4	11.4	8.6

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	16.67	20.08	33.56	38.72	44.00	9.61	142.92	24.80	52.13
女子	15.66	23.45	41.34	39.25	46.80	9.26	155.25	14.91	60.03

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

○男子
・体育の授業を楽しいと好きと答える児童の割合が前年度より大きく下回っている。運動に苦手意識を持つ児童が多いことが原因と考えられる。
○女子
・運動やスポーツをしないと答えた児童が前年度5年生と比較し、増加した。体育の授業で運動をする機会が少ないことが原因と考えられる。

体力面

・男子は反復横跳びや立ち幅跳びなどの敏捷性や瞬発力に課題がある。素早い動きを行う運動の経験不足が原因と考えられる。
・女子はすべての項目で平均を超えているが、記録の個人差が大きいため、運動経験による能力の差が見られる。習い事でスポーツをしない児童が多いことが原因と考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・運動の領域、単元に適した体づくり運動を選択し、学年段階に応じたメニューを毎授業5~10分間程度必ず行う。
- ・様々な運動を組み合わせ、敏捷性や瞬発力を高めるサーキットトレーニング(ステップ運動など)を行い、総合的な体力の向上を図る。
- ・運動は楽しい、もっとやりたいと思うような取組や運動の大切さを理解できるように授業内容を工夫する。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・休憩時間に「かけあしタイム」を行い、持久力を高める。
- ・体力テストの結果を児童に提示し、自分の目標を決めて、記録向上に向けた運動を行うように促す。そのため目標達成カードを活用し、具体的な方法を自ら選び、自分にあった運動に取組めるようにする。
- ・体育委員より敏捷性や瞬発力を高めるドリル運動やジャンプトレーニングの動画を複数紹介し、児童が選んで行えるようにする。

2026年度(R8年度)の重点目標値

- ・運動やスポーツを週に3日以上する児童を男女ともに70%以上にする。
- ・体力合計点の平均を男女ともに60点以上にする。